

無生物主語構文

All Rights Reserved, Copyright (C) Donovan School of English

無生物主語構文ってなに？

無生物主語構文とは…

無生物が主語であるために、直訳した際、不自然な和訳になってしまう英文のことを指す。

無生物主語構文の自然な訳し方

無生物の主語を理由・条件・時・情報源を表す副詞として訳し、人(など)の目的語を主語として訳す。

無生物主語を理由を表す副詞として訳す場合 (1)

His promotion allowed him to buy an engagement ring.

直訳→「彼の昇進は彼に婚約指輪を買うことを許可した。」

自然な訳→「昇進したので、彼は婚約指輪を買うことができた。」

(=Because he was promoted, he was able to buy an engagement ring.)

無生物主語を理由を表す副詞として訳す場合 (2)

Computerization has enabled us to do away with a lot of paperwork. (Cambridge Dictionaries Online)

直訳→「コンピューターの導入は私たちがたくさんの事務処理をなくすことを可能にさせた。」

自然な訳→「コンピューターの導入のおかげで私たちはたくさんの事務処理をなくすことができました。」

(=Thanks to computerization, we have been able to do away with a lot of paperwork.)

無生物主語を理由を表す副詞として訳す場合 (3)

Better science will enable us to live longer.

直訳→「科学の進歩は私たちがより長生きすることを可能にさせるだろう。」

自然な訳→「科学の進歩のおかげで、私たちはより長生きできるだろう。」

(=Thanks to better science, we will be able to live longer.)

無生物主語を理由を表す副詞として訳す場合 (4)

Lack of sleep prevented me from concentrating on studying.

直訳→「睡眠不足は私が勉強に集中することを妨げた。」

自然な訳→「睡眠不足のせいで私は勉強に集中できなかった。」

(=Because of lack of sleep, I could not concentrate on studying.)

無生物主語を理由を表す副詞として訳す場合 (5)

What made you so sad?

直訳→「何が君をそんなに悲しませたの？」

自然な訳→「なんで君はそんなに悲しんでいたの？」

(=Why were you so sad?)

無生物主語を理由を表す副詞として訳す場合 (6)

The Internet saves us a lot of trouble.

直訳→「インターネットは我々の多くの手間を省く。」

自然な訳→「インターネットのおかげで、我々は多くの手間を省くことができる。」

(=Thanks to the Internet, we can save a lot of trouble.)

無生物主語を理由を表す副詞として訳す場合 (7)

Overwork cost a staff her life.

直訳→「過労がある社員の命を犠牲にした。」

自然な訳→「過労のためにある社員は命を落とした。」

(=Due to overwork, a staff lost her life.)

無生物主語を条件を表す副詞として訳す場合 (1)

His promotion will allow him to buy an engagement ring.

直訳→「彼の昇進は彼に婚約指輪を買うことを許可するだろう。」

自然な訳→「昇進したら彼は婚約指輪を買うことができるだろう。」

(=If he is promoted, he will be able to buy an engagement ring.)

無生物主語を条件を表す副詞として訳す場合 (2)

A little more patience will enable you to receive a kidney from a donor.

直訳→「もう少しの辛抱が、あなたがドナーから腎臓を受け取れることを可能にさせるだろう。」

自然な訳→「もう少し辛抱すれば、あなたはドナーから腎臓を受け取ることができるよ。」

(=With a little more patience, you will be able to receive a kidney from a donor.)

無生物主語を条件を表す副詞として訳す場合 (3)

The death toll will discourage you from going to Egypt.

直訳→「死者数は君がエジプトに行くことを思いとどまらせるだろう。」

自然な訳→「死者数を見れば、君はエジプトに行くのを思いとどまるだろう。」

(=If you see the death toll, you will give up going to Egypt.)

無生物主語を時を表す副詞として訳す場合 (1)

An hour's drive brought me to the court.

直訳→「一時間の運転が私を裁判所に連れてきた。」

自然な訳→「一時間の運転後、私は裁判所に着いた。」

(=After an hour's drive, I got to the court.)

無生物主語を時を表す副詞として訳す場合 (2)

This song always reminds me of my childhood.

直訳→「この歌はいつも私に子供の頃を思い出させる。」

自然な訳→「この歌を聴くといつも、私は子供の頃を思い出す。」

(=Whenever I listen to this song, I remember my childhood.)

無生物主語を情報源を表す副詞として訳す場合 (1)

The newspaper says that an university student was arrested for murder.

直訳→「ある大学生が殺人のかどで逮捕された」と新聞が言う。」

自然な訳→「新聞によると、ある大学生が殺人のかどで逮捕されたようだ。」

(=According to the newspaper, an university student was arrested for murder.)

無生物主語を情報源を表す副詞として訳す場合 (2)

The clock says 1:30.

直訳→「時計が1:30と言っている。」

自然な訳→「時計によると1:30だ。」

「時計は1:30を指している。」

(=According to the clock, it is 1:30.)

無生物主語を情報源を表す副詞として訳す場合 (3)

Her habit of smoking tells us that she is frustrated.

直訳→「彼女の喫煙癖は彼女がイライラしていることを我々に教えてくれる。」

自然な訳→「彼女の喫煙癖で、我々は彼女がイライラしているのが分かる。」

(=We learn from her habit of smoking that she is frustrated.)